

令和4年度

北区「特色ある区づくり予算事業(案)」の提案について  
(事業別)

(令和3年12月23日 資料)



## 令和4年度 北区「特色ある区づくり予算事業計画書」目次（令和3年12月23日現在）

番号	事業名	担当課	新規 継続	R2決算額	R3予算額	R4予定額	掲載 ページ
<b>■豊かな自然と共生するまち</b>							
1	海辺の森共創の場形成事業	産業振興課	新規	-	-	460万円	1・2
2	松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり事業	建設課	継続	-	230万円	290万円	3・4
3	北区水辺環境フィーチャリング事業	区民生活課	継続	198万円	200万円	200万円	5・6
<b>■活力ある産業のまち</b>							
4	キタクなる魅力創造プロジェクト	産業振興課	新規	-	-	300万円	7・8
5	「次世代農業」普及事業	産業振興課	継続	-	150万円	150万円	9・10
6	地域商業にぎわい創出プロジェクト	産業振興課	継続	160万円	260万円	260万円	11・12
<b>■学びあい、健康で、人にやさしいまち</b>							
7	大学連携「ひと・まち」づくり推進事業	地域総務課	新規	-	-	140万円	13・14
8	来て、見て、北区役所	地域総務課	新規	-	-	20万円	15・16
9	北区エンジョイスports事業	産業振興課	継続	-	150万円	150万円	17・18
10	木崎村小作争議100周年事業	地域総務課	継続	23万円	150万円	130万円	19・20
11	北区子育て応援事業	健康福祉課	継続	189万円	350万円	300万円	21・22
12	北区もの忘れ検診	健康福祉課	継続	37万円	80万円	80万円	23・24
13	大学生による家庭介護セミナー	健康福祉課	継続	30万円	30万円	30万円	25・26
<b>■安心安全で暮らしやすいまち</b>							
14	「高めよう互近助力」地域でつくる避難生活運営体制事業	地域総務課	新規	-	-	160万円	27・28
<b>区企画事業 計</b>						<b>2,670万円</b>	
1	めざせ防災力向上！（継続）	地域づくり部会		-	-	90万円	29
2	子が育ち、大人が育つまちづくり	福祉教育部会		-	-	60万円	30
3	北区 魅力発信継承事業	自然文化部会		-	-	80万円	31
<b>自治協議会提案事業 計</b>						<b>230万円</b>	
<b>令和4年度 特色ある区づくり予算事業 合計</b>						<b>2,900万円</b>	

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	海辺の森共創の場形成事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他(                      )
事業期間	令和4年4月1日 ~ 令和7年3月31日
担当所属	北区産業振興課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度から、北区海岸林保全計画に基づき、国県補助金を活用し植栽工事を実施した。それにより、守るべき(保全する)森が増加したため、地元住民による自主的な保全活動が始まり、年々参加者は増加している。</li> <li>・地元では保全活動資金の充実のためコミュニティビジネス(以下「CB」という)の拡大と支援金制度の活用で費用の捻出を試みている。</li> <li>・保健保安林である海辺の森の活用による交流人口の拡大が地元や指定管理者、市の共通課題となっており、その解決策として勉強会を行い検討してきたが、継続した交流人口の拡大に至っていない。</li> <li>・交流人口の拡大事業に伴い、釣り人による環境問題(トイレ対策)が課題となっている。</li> </ul>
目的 (何のために)	美しい海辺の森を後世に引き継ぐため、地元の自発的な保全活動に対する様々な活動を資金面と、交流人口の拡大活動で支援する
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海辺の森の保全活動を地元の住民やボランティア団体、大学などと連携した保全活動にするため任意団体に支援をし、持続可能な体制を構築するためのアイデアや手法を、任意団体と地元住民共に協働で検討していく。</li> <li>・保全活動の資金不足解消のため、地元のCB活動の拡大と支援金寄付活動を支援する。</li> <li>・有識者(アドバイザー)を招いて、地元や指定管理者、市による勉強会を開催する。</li> <li>・美しい保安林の環境を守るために仮設トイレを設置して、交流人口拡大に伴う恒久的なトイレの必要性を調査する。</li> </ul>
期待される事業効果 (目的に対して)	地域主体の取り組みとCB活動の拡大による活動資源確保により、持続可能な体制が拡充され地域の活性化に寄与する

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和4年度(1年目)	令和5年度(2年目)	令和6年度(3年目)
事業費	4,600,000円(予定額)	3,700,000円(予定額)	3,700,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>1. さまざまな保全活動への支援(2,880,000円)                      (1)海辺の森協議会への活動支援                      (2)保安林の環境対策(仮設トイレ設置)                      (3)支援金寄付活動の支援</p> <p>2. コミュニティビジネスへの活動支援(554,000円)                      (1)意見交換及び市場調査委託によるCB事業拡大検討                      (2)先進地視察</p> <p>3. 海辺の森条例改正を含めた海辺の森交流人口拡大活動(1,166,000円)                      (1)キャンプ場新使用料の検討                      (2)コンサルタント委託                      (3)アドバイザー謝礼</p>	<p>1. さまざまな保全活動への支援                      (1)海辺の森協議会への活動支援                      (2)保安林の環境対策(仮設トイレ設置)                      (3)支援金寄付活動の支援</p> <p>2. コミュニティビジネスへの活動支援                      (1)意見交換及び及び市場調査委託による新たなCB事業の試行                      (2)先進地視察</p> <p>3. 海辺の森条例改正を含めた海辺の森交流人口拡大活動                      (1)条例改正と新使用料を含めたPR方法の検討                      (2)コンサルタント委託                      (3)アドバイザー謝礼</p>	<p>1. さまざまな保全活動への支援                      (1)海辺の森協議会への活動支援                      (2)保安林の環境対策(仮設トイレ設置と検証)                      (3)支援金寄付活動の支援</p> <p>2. コミュニティビジネスへの活動支援                      (1)意見交換によるCB事業拡大検討                      (2)先進地視察</p> <p>3. 海辺の森条例改正を含めた海辺の森交流人口拡大活動                      (1)新使用料を含めたPR方法の検証                      (2)コンサルタント委託                      (3)アドバイザー謝礼</p>
3か年の 予定総事業費	12,000千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	海辺の森協議会(地元住民を主体に組織される団体)によって、自主的に海辺の森の保全作業を行うとともに、地域住民による周辺資源の利活用(コミュニティビジネス)の拡大による活動資源確保と、海辺の森を核とした交流人口の拡大により地域活動の循環が生まれ活性化が進んでいく。		

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり事業
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他(      )
事業期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日
担当所属	北区建設課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>松浜海岸は非常に広大な砂浜であり、日本海特有の冬場の季節風により、海岸と住宅地(松浜みなと地区や松浜8丁目地区)が近接している状況から、他区には無いような飛砂による被害が毎年のように発生し、長い間地域住民は被害に悩まされている。松浜海岸には市民文化遺産として認定されたひょうたん池があり、豊かな自然環境をもち、夏から秋にかけては多くのトンボが飛び交い、トンボの楽園となっている。中でも絶滅危惧種Ⅰ類(レッドゾーン最上位)でもある貴重なオオモノサシントンボが生息する場所でもあるが、飛砂被害によりひょうたん池が狭くなり、今後は消滅してしまう恐れもある。</p> <p>このようなことから、松浜海岸の飛砂被害を軽減して、暮らしやすい環境づくりへの取組みを進め、更にひょうたん池を守り、松浜地区の魅力づくりを続けていく必要がある。</p> <p>飛砂対策を、市民と協働で行い、地元住民が地域に携る機会を増やす事で、魅力の発信、地域への愛着や誇りが生まれる環境づくりができる。</p>
目的 (何のために)	<p>飛砂被害を軽減して、松浜地区の暮らしやすい環境づくりを行う。また飛砂被害により埋没して消滅する恐れのある市民文化遺産である、ひょうたん池を守る。官民協働で飛砂対策を行うことで、地域の環境保全につなげ、地元の方の誇りである自然環境を守り、地域の活性化や地域のやすらぎある自然環境を今後も継続していく。</p>
手段 (どのようなやり方で)	<p>地元住民と松浜小学校、国土交通省、新潟市との官民協働で松浜海岸にアキグミの苗木等の植栽により、砂浜を緑化する事で飛砂対策を行う。</p> <p>また、飛砂防止ネットを併せて設置することで、対策の効果を高める。</p>
期待される事業効果 (目的に対して)	<p>アキグミ苗木の植栽を官民協働を進めて、砂浜を緑化する事により、松浜地区の飛砂被害の軽減につながる。また、地域の問題を地元の方、地元小学生の多くの方々と取り組んで解決していくことで、ひょうたん池の保全による魅力づくり、地域の活性化、地域への愛着・地域に誇りをもてる環境づくりができる。</p>

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	令和5年度(3年目)
事業費	2,300,000円(予算額)	2,900,000円(予定額)	2,900,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松浜海岸の飛砂防止対策として官民協働によるアキグミ苗木の植栽等を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松浜海岸の飛砂防止対策として官民協働によるアキグミ苗木の植栽等を行う。</li> <li>・植栽したアキグミ苗木の保護や即効性のある飛砂対策として飛砂防止ネットの設置を行う。</li> </ul>	同左
3カ年の 予定総事業費	8,100千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	地域住民による持続可能な事業の実施		

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	北区水辺環境フィーチャリング事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区其自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他(                      )
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日
担当所属	北区区民生活課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>北区の阿賀野川右岸には、海流や風などによって運ばれてきた土砂が河口を閉じ込めてできたひょうたん池、かつて蛇行する阿賀野川の一部だった十二瀧があり、河川や海流によってもたらされた古来からの大きな自然の動きを、その水辺の存在自体から感じることができる。</p> <p>水辺が形成された歴史や、様々な動植物が生息している水辺の魅力が、区内外に十分に発信されていない現状である。外来植物や雑草が希少植物の生態を脅かしている。</p>
目的 (何のために)	水辺の環境を保全する活動を区民と協働で実施し、さらに瀧や池が環境教育や自然体験の場、自主的な地域づくりの場、ふれあいと憩いの場となるよう、水辺環境づくりを推進する。
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 希少植物の保護と異常発生植物等の駆除 (ひょうたん池のヨシの駆除・十二瀧のヒシの駆除)</li> <li>○ 自然観察体験会</li> <li>○ 清掃美化活動</li> </ul>
期待される事業効果 (目的に対して)	<p>水辺環境及び希少動植物の保全が図られる。</p> <p>観察会、体験会を通して、水辺の自然や歴史と、その魅力を区内外に発信するとともに後世に繋いでいける。</p> <p>環境保全活動が将来にわたって長く継続されることが期待できる。</p>



### 特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	1,979,550円(決算額)	2,000,000円(予算額)	2,000,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	1 異常発生植物等の駆除 ・ひょうたん池のヨシの駆除 ・十二湍のヒシ, ヨシの駆除  2 観察会・勉強会の実施 ・観察場所の環境づくり  3 環境保全活動 ・清掃活動	同左	同左
3カ年の 予定総事業費	5,980千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	事業終了後は地区コミュニティ協議会や地元団体等が継続して実施		



## 特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和4年度(1年目)	令和5年度(2年目)	令和6年度(3年目)
事業費	3, 000, 000円(予定額)	3, 000, 000円(予定額)	3, 000, 000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	(1)新潟市北区観光誘客推進協議会 負担金 1,130,000円 1 バスツアー支援(240,000円) ・広報費、ガイド費の補助 2 観光資源利用促進事業(280,000円) ・市場共通商品券発行支援 3 観光宣伝資料製作事業(520,000円) 4 桜の名所づくり事業支援(40,000円) ・観桜イベント支援 5 事務局委託料<40,000円)	(1)新潟市北区観光誘客推進協議会 負担金 1,130,000円 1 バスツアー支援(240,000円) ・広報費、ガイド費の補助 2 観光資源利用促進事業(280,000円) ・市場共通商品券発行支援 3 観光宣伝資料製作事業(520,000円) 4 桜の名所づくり事業支援(40,000円) ・観桜イベント支援 5 事務局委託料<40,000円)	(1)新潟市北区観光誘客推進協議会 負担金 1,130,000円 1 バスツアー支援(240,000円) ・広報費、ガイド費の補助 2 観光資源利用促進事業(280,000円) ・市場共通商品券発行支援 3 観光宣伝資料製作事業(520,000円) 4 桜の名所づくり事業支援(40,000円) ・観桜イベント支援 5 事務局委託料<40,000円)
	(2)北区観光PR事業 480,000円 ・消耗品購入, PR物品製作 需用費(180,000円) ・広告掲載 役務費(300,000円)	(2)北区観光PR事業 480,000円 ・消耗品購入, PR物品製作 需用費(180,000円) ・広告掲載 役務費(300,000円)	(2)北区観光PR事業 480,000円 ・消耗品購入, PR物品製作 需用費(180,000円) ・広告掲載 役務費(300,000円)
	(3)北区観光シャトルバス事業 委託料 950,000円	(3)北区観光シャトルバス事業 委託料 950,000円	(3)北区観光シャトルバス事業 委託料 950,000円
	(4)北区観光モニター事業 委託料 440,000円 ・事務管理費(50,000円) ・モニター活動費(250,000円) ・レンタサイクル事業(110,000円) ・諸経費(30,000円)	(4)北区観光モニター事業 委託料 440,000円 ・事務管理費(50,000円) ・モニター活動費(250,000円) ・レンタサイクル事業(110,000円) ・諸経費(30,000円)	(4)北区観光モニター事業 委託料 440,000円 ・事務管理費(50,000円) ・モニター活動費(250,000円) ・レンタサイクル事業(110,000円) ・諸経費(30,000円)
3カ年の 予定総事業費	9, 000千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	区づくり事業の成果をもとにして引き続き官民一体となって観光振興に取り組む。		



## 特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	令和5年度(3年目)
事業費	1,500,000円(予算額)	1,500,000円(予定額)	1,500,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	1. 農産物のブランド力強化 (1) 販売促進ツールの作成 (2) 販売・PRイベントへの参加 (3) その他広報活動  2. 新技術の導入検討 (1) 栽培実証委託費 (2) 会議費 (3) その他雑費	1. 農産物のブランド力強化 (1) 販売促進ツールの作成 (2) 販売・PRイベントへの参加 (3) その他広報活動  2. 新技術の導入検討 (1) 栽培実証委託費 (2) 会議費 (3) その他雑費	1. 農産物のブランド力強化 (1) 販売促進ツールの作成 (2) 販売・PRイベントへの参加 (3) その他広報活動  2. 新技術の導入検討 (1) 栽培実証委託費 (2) 会議費 (3) その他雑費
3カ年の 予定総事業費	4,500千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	取組効果を検証しながら、生産者団体・JAへの移管も含めて検討。		

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	地域商業にぎわい創出プロジェクト
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input checked="" type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他(                      )
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日
担当所属	北区産業振興課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度から区づくり事業として、3年間にわたり北区における人口減少や少子高齢化に伴う商業の衰退、街の活力低下を食い止め、北区の地域商業の活性化と街のにぎわい創出を目的として、地域商業活性化事業を実施してきた。各地域の活性化のテーマを用いて、地域全体のイメージアップを図り、継続した賑わいへと繋がるよう取り組みを行ってきた。しかし、地域ブランドの定着及び継続した賑わいには至っていない。</li> <li>・コロナウイルス感染症の影響により、地域の賑わいづくり事業がストップしている状況に鑑み、柔軟に地域で事業を行えるように環境づくりを行う。</li> </ul>
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北区における人口減少や少子高齢化に伴う、商業の衰退、街の活力低下を食い止め、北区の地域商業の活性化と街のにぎわいを創出する。また、地域に若者が定着するような魅力ある地域を創造する。</li> <li>・これまでの地域商業活性化事業で実施してきた活動をもとに、将来へと持続的に展開していく。</li> </ul>
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域商業活性化のテーマをもとに地域の商店街や商店の新規顧客の獲得に繋がる取り組みを実施する。テーマに沿ったコンテンツ開発やPR展開を行い、エリア全体でのイメージアップを図り、地域への愛着形成及び継続した賑わいを創出する。</li> </ul>
期待される事業効果 (目的に対して)	<p>各個店の新規顧客の獲得とエリア全体の魅力アップによる来街者増加につながる。地域のこども、若者から地域に愛着を持ってもらい、地域への定着が期待できる。エリアとしての共通イメージが構築されることで、一体感を持って様々な活動が展開され、波及効果が生まれる。</p>

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	1,600,000円(決算額)	2,600,000円(予算額)	2,600,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>地域商業活性化のテーマに沿って新規顧客獲得と地域への愛着形成、来街者増加を目的としたコンテンツ開発やPR展開に取り組む。</p> <p>(1)地域商業にぎわい創出事業(豊栄地域) 負担金 &lt;内訳&gt; ・活動費 一式</p> <p>(2)地域商業にぎわい創出事業(北新潟地域) 負担金 &lt;内訳&gt; ・活動費 一式</p>	<p>地域商業活性化のテーマに沿って新規顧客獲得と地域への愛着形成、来街者増加を目的としたコンテンツ開発やPR展開に取り組む。</p> <p>アフターコロナの状況を踏まえ、変化に即した活性化事業を推進する。</p> <p>(1)地域商業にぎわい創出事業(豊栄地域) 負担金 &lt;内訳&gt; ・活動費 一式</p> <p>(2)地域商業にぎわい創出事業(北新潟地域) 負担金 &lt;内訳&gt; ・活動費 一式</p> <p>(3)地域商業にぎわい創出事業(アフターコロナチャレンジ事業) 負担金 &lt;内訳&gt; ・活動費一式</p>	<p>地域商業活性化のテーマに沿って新規顧客獲得と地域への愛着形成、来街者増加を目的としたコンテンツ開発やPR展開に取り組む。</p> <p>アフターコロナの状況を踏まえ、変化に即した活性化事業を推進する。</p> <p>(1)地域商業にぎわい創出事業(豊栄地域) 負担金 &lt;内訳&gt; ・活動費 一式</p> <p>(2)地域商業にぎわい創出事業(北新潟地域) 負担金 &lt;内訳&gt; ・活動費 一式</p> <p>(3)地域商業にぎわい創出事業(アフターコロナチャレンジ事業) 負担金 &lt;内訳&gt; ・活動費一式</p>
3か年の 予定総事業費	6,800千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	さらなる自立的な活動への波及と事業継続のため、官民で協力してイメージの定着を支援していく。		

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	大学連携「ひと・まち」づくり推進事業
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他(                      )
事業期間	令和4年4月1日 ~ 令和7年3月31日
担当所属	北区地域総務課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>・小・中学校への「ひと・まち」づくりパートナー(タッグパートナー)の派遣等を通じて、大学との連携が深まりつつあるが、地域との連携・協働はまだ活動範囲が広がっていないのが現状である。については、本事業の活動内容をより地域に周知し(活動内容を記録したDVDの活用など)、地域へも本事業が広がるよう取り組む必要がある。</p> <p>・北区にとって大学は区の資源(強み)でもあり、大学と地域・学校が連携しまちづくりを推進することで、より北区の活性化も図れると考える。</p>
目的 (何のために)	新潟医療福祉大の学生が「ひと・まち」づくりパートナー(タッグパートナー)として地域コミュニティ協議会や学校等(以下「地域コミュニティ等」という。)で活動することにより、地域・学校との連携を深め、北区の活性化につなげる。
手段 (どのようなやり方で)	<p>1 地域コミュニティ等へのタッグパートナーの派遣 新潟医療福祉大学では、2022年度から「社会連携実践演習」を新設する。大学と連携しながら、演習のフィールドワークの場を提供することにより地域の実情に応じた「ひと・まち」づくりの取り組みや活動に対し、タッグパートナーを派遣することで大学との連携・協働を推進する。</p> <p>2 新潟医療福祉大学と地域コミュニティ、商工会議所、北区役所及び関係団体等との間において定期的に情報交換を行い、事業の円滑な運営を図る。</p> <p>3 意見交換会の開催 事業の成果を広く区民や地域に周知し、本事業の意義と今後の活動について意見交換する。</p>
期待される事業効果 (目的に対して)	<p>・大学生は、「タッグパートナー」として主体的に活動することで、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていく上で必要な力(社会人基礎力)を形成することができる。</p> <p>・地域コミュニティ等は、大学生と協働して地域の実情に応じた「ひと・まち」づくりに取り組むことで、地域の課題解決力を高めることができる。</p> <p>・北区の資源(強み)でもある大学と地域がつながり、連携を深めることで北区の活性化につなげる。</p>



## 特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和4年度(1年目)	令和5年度(2年目)	令和6年度(3年目)
事業費	1,400,000円(予定額)	1,400,000円(予定額)	1,400,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新潟医療福祉大学から地域コミュニティ協議会や学校等へひとづくり, まちづくりを連携・協働するタッグパートナーの派遣・小学校への学習支援、スポーツ支援・自治会や地域コミュニティの地域活動への支援</li> <li>②オンラインやオンデマンドを活用した学習支援プログラム等の開発及び作成</li> <li>③新潟医療福祉大学, 地域コミュニティ, 商工会議所, 行政及び関係団体等との情報交換</li> <li>④活動報告を兼ねた報告会(意見交換会)の開催</li> <li>⑤報告資料作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新潟医療福祉大学から地域コミュニティ協議会や学校等へひとづくり, まちづくりを連携・協働するタッグパートナーの派遣・小学校への学習支援、スポーツ支援・自治会や地域コミュニティの地域活動への支援</li> <li>②オンラインやオンデマンドを活用した学習支援プログラム等の開発及び作成</li> <li>③新潟医療福祉大学, 地域コミュニティ, 商工会議所, 行政及び関係団体等との情報交換</li> <li>④活動報告を兼ねた報告会(意見交換会)の開催</li> <li>⑤報告資料作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①新潟医療福祉大学から地域コミュニティ協議会や学校等へひとづくり, まちづくりを連携・協働するタッグパートナーの派遣・小学校への学習支援、スポーツ支援・自治会や地域コミュニティの地域活動への支援</li> <li>②オンラインやオンデマンドを活用した学習支援プログラム等の開発及び作成</li> <li>③新潟医療福祉大学, 地域コミュニティ, 商工会議所, 行政及び関係団体等との情報交換</li> <li>④活動報告を兼ねた報告会(意見交換会)の開催</li> <li>⑤報告資料作成</li> </ul>
3カ年の 予定総事業費	4,200千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定			

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	来て、見て、北区役所
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組 <input type="checkbox"/> 区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組 <input type="checkbox"/> 区 of 自然・風土を生かした取組 <input checked="" type="checkbox"/> 区民との協働による取組 <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他(      )
事業期間	令和4年4月1日 ~ 令和6年3月31日
担当所属	北区地域総務課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<b>【現状】</b> ・令和3年2月に北区新庁舎がオープンし、多目的に利用できる空間として「交流スペース」を整備した。 また、令和4年度には外構工事として区役所前に「緑地広場」を整備予定。 <b>【課題】</b> ・北区役所新庁舎基本構想の検討会議で「地域の歴史や特産品そして自然の魅力などを生かしていただき相互理解を深める事」「区役所に区民が集まる機会を増やし、区民の交流を促進すること」そして「北区に誇りを持ってもらうこと」が区の一体感の醸成につながるとの意見があった。
目的 (何のために)	「交流スペース」や「緑地広場」を活用した賑わいを創出することで、区民が区役所に集まる機会を増やし、また文化会館や図書館など整備エリア内の公共施設への交流を促進する。
手段 (どのようなやり方で)	・区役所、公民館、図書館などの職員でエリアの賑わいづくりに向けたプロジェクトチームを立ち上げ、活用したい団体へPRし、使ってもらうことで様々な利用実績を重ね、年間をとおして継続的な賑わいづくりを行う。
期待される事業効果 (目的に対して)	・北区役所をはじめ整備エリア内の公共施設の機能や情報を連携させ、相乗効果を生み出すことで各施設のサービス向上と利用者の増加を図り、区役所の役割である「地域の拠点」の推進を図る。

### 特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和4年度(1年目)	令和5年度(2年目)	
事業費	200,000円(予定額)	200,000円(予定額)	
計画内容 (手段に対して)	○区役所賑わい検討委員会の開催	○区役所賑わい検討委員会の開催	
3か年の 予定総事業費	400千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	区づくり事業で展開した成果をもとに、引き続き「地域の拠点」や「区民の交流の促進」に取り組む		

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	北区エンジョイスports事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他(                      )
事業期間	令和3年4月1日 ~ 令和6年3月31日
担当所属	北区産業振興課
現状・課題・ニーズ	<p>ウィズコロナの状況下で外出自粛や在宅勤務等による運動不足やスポーツへの関心低下が問題となっている。新しい生活様式に配慮したスポーツイベントを開催し、安心して気軽にスポーツを楽しみ健康の増進を図ることのできる機会を提供する。</p>
目的	<p>ウィズコロナの状況下でも安心して気軽に運動を楽しむことができ、恒常的により多くの人々がスポーツを愛好できる機運を醸成するとともに、区民の積極的な参加を促し健康増進につなげていく。</p>
手段	<p>北区スポーツ協会を中心に区内スポーツ団体等と連携し、ウィズコロナの状況下でも区民が安心して気軽に参加できるスポーツ大会、体験会を区内スポーツ施設等で開催するほか、新たに、自宅などの身近な場所でできる運動の普及を図る。          また、冬の風物詩でもあり自然に親しみながら歩く、北区元旦歩こう会を新型コロナウイルスの感染拡大予防に注意し、実行委員会形式で開催する。</p>
期待される事業効果	<p>ウィズコロナの状況下でも年齢を問わず多くの区民が、安心してスポーツに親しむ機会を得て、スポーツを愛好し健康増進につなげることで、スポーツを通じて活力ある健康で明るい北区づくりに貢献できる。</p>

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和3年度(1年目)	令和4年度(2年目)	令和5年度(3年目)
事業費	1,500,000円(予算額)	1,500,000円(予定額)	1,500,000円(予定額)
計画内容	<p>◆北区エンジョイスports事業</p> <p>○新潟市北区Sports協会に業務委託</p> <p>○開催時期 令和3年10月 ～令和4年1月末</p> <p>○参加者数予想 1,000人</p> <p>○開催内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Sportsイベント (10月～11月を予定, 豊栄総合体育館)</li> <li>・各競技大会(北区内各所)</li> <li>・Sports体験イベント (Sportsイベントと同日開催: 豊栄総合体育館, 豊栄南運動公園, 別日開催:北地区Sportsセンター)</li> <li>・身近な場所できる運動普及</li> </ul> <p>○委託料</p> <p>【運営費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Sportsイベント等</li> </ul> <p>【賞品代】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加賞等</li> </ul> <p>【需用費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター・チラシ代等</li> </ul> <p>【事務費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務経費</li> </ul> <p>◆北区元旦歩こう会</p> <p>○新潟市北区元旦歩こう会実行委員会主催</p> <p>○参加者数予想 400人</p>	<p>◆北区エンジョイスports事業</p> <p>○新潟市北区Sports協会に業務委託</p> <p>○開催時期 令和4年10月 ～令和5年1月末</p> <p>○参加者数予想 1,500人</p> <p>○開催内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Sportsイベント (10月～11月を予定, 豊栄総合体育館)</li> <li>・各競技大会(北区内各所)</li> <li>・Sports体験イベント (Sportsイベントと同日開催: 豊栄総合体育館, 豊栄南運動公園, 別日開催:北地区Sportsセンター)</li> <li>・身近な場所できる運動普及</li> </ul> <p>○委託料</p> <p>【運営費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Sportsイベント等</li> </ul> <p>【賞品代】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加賞等</li> </ul> <p>【需用費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター・チラシ代等</li> </ul> <p>【事務費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務経費</li> </ul> <p>◆北区元旦歩こう会</p> <p>○新潟市北区元旦歩こう会実行委員会主催</p> <p>○参加者数予想 500人</p>	<p>◆北区エンジョイスports事業</p> <p>○新潟市北区Sports協会に業務委託</p> <p>○開催時期 令和5年10月 ～令和6年1月末</p> <p>○参加者数予想 2,000人</p> <p>○開催内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Sportsイベント (10月～11月を予定, 豊栄総合体育館)</li> <li>・各競技大会(北区内各所)</li> <li>・Sports体験イベント (Sportsイベントと同日開催: 豊栄総合体育館, 豊栄南運動公園, 別日開催:北地区Sportsセンター)</li> <li>・身近な場所できる運動普及</li> </ul> <p>○委託料</p> <p>【運営費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Sportsイベント等</li> </ul> <p>【賞品代】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加賞等</li> </ul> <p>【需用費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター・チラシ代等</li> </ul> <p>【事務費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務経費</li> </ul> <p>◆北区元旦歩こう会</p> <p>○新潟市北区元旦歩こう会実行委員会主催</p> <p>○参加者数予想 600人</p>
3か年の 予定総事業費	4,500千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	参加者の意見・要望を踏まえ、関係団体や実行委員会で実施について検討する。		

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	木崎村小作争議100周年事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区 of 自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他(                      )
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日
担当所属	北区地域総務課 北区郷土博物館
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	木崎村小作争議は、北区の歴史の中でも特徴的な出来事である。農民が自らの生活の改善を目指した運動で、大正から昭和初期の社会運動として全国的にも知られている。しかし、徐々にその記憶も薄れてきており、歴史資料の劣化も進んでいる。当館協議会でも、北区の特徴的な出来事を積極的に発信すべきとの提案もいただいている。しかし、これまでの刊行物、当館企画展では、いわゆる小作側からの視点で捉えられていたため、地主個人の人物像や地域における業績などが対立構造の中に埋もれ、紹介されることがほとんどなかった状況がある。
目的 (何のために)	令和4(2022)年度が木崎小作争議100周年に当たるので、今一度、農民運動・社会運動として全国的に有名な出来事が、北区において起こったことを再認識してもらい、その証である事物(農民学校の看板など)の風化を止める。また、次世代に整理したものを引き継ぐ。
手段 (どのようなやり方で)	100周年にあたる令和4(2022)年度5月～7月の間に、100周年企画展示事業を行う。その期間中に、小作側と地主側の双方の視点から争議を研究する研究者の講演、木崎村小作争議にゆかりのある場所をめぐるツアーを実施する。地元中学生に対しては北区で起こった争議を認識する機会として見学会を行う。また、企画展に合わせパンフレットを作成し、小作側・地主側の双方の視点からの資料紹介や小論文を掲載する。令和2(2020)年度及び令和3(2021)年度には、企画展示に使う歴史資料で、傷みが進んで展示に耐えないものがあるので、専門家から意見をもらい修復する。企画展示事業が終了後、講演の内容や歴史資料の修復課程などの記録集を作成する。また、当館所蔵資料のほかにも関係資料の有無を調査し、展示に必要なものは事前にパネル化する。
期待される事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劣化の激しい木製の資料(農民学校西入口看板・市指定文化財)の修復を行うことで全国的にも有名な小作争議に係わる歴史資料を次世代に引き継げる。今後の展示公開等でも活用できる。</li> <li>・当館が所蔵する小作側と地主側のそれぞれの立場の資料などを整理して、視野を広くして、客観的にパンフレット掲載することで小作争議の研究実績となり、地域のみならず全国に情報発信できるとともに今後の研究の進展に繋げることができる。</li> <li>・企画展終了後に展示会の報告、講演会の報告、修復の報告等をまとめた記録集を作製することで整理された記録が残る。</li> </ul>

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	228,183円(決算額)	1,500,000円(予算額)	1,300,000円(予定額)
<p>計画内容 (手段に対して)</p>	<p>「木崎村小作争議100周年事業」資料の調査・研究・目録作り 木崎村小作争議関連の市指定文化財の修理修繕のための調査</p> <p>決算額 228,183円 《内訳》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査研究 資料整理・目録作成費 32,500円</li> <li>・資料修復準備 修復調査旅費 16,240円 修繕調査委託料 179,443円</li> </ul>	<p>木崎村小作争議関連の市指定文化財の修理修繕 100周年企画展のパネル製作委託 研究者に寄稿文の依頼 広報印刷物、パンフレット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・修復委託先打合せ等旅費 60千円</li> <li>・資料修復費 修復修繕費 700千円 輸送費 110千円</li> <li>・展示用パネル・展示台等製作費 80千円</li> <li>・印刷物 ポスター・チラシ作成費 110千円 パンフレット作成費 290千円 原稿執筆謝礼 100千円 撮影費 50千円</li> </ul>	<p>5月～7月の間の2か月程度に渡る「木崎村小作争議100周年企画展」(市指定文化財、説明パネルの展示) 同期間中に小作側と地主側の双方の立場から見た講演会 争議ゆかりの地を巡るバスツアー 地元中学生の企画展見学会 企画展と講演会記録集作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・展示用消耗品類 100千円</li> <li>・講演会謝礼(旅費込) 200千円 ・バスツアー講師謝礼 10千円</li> <li>・記録集印刷費 160千円 ・印刷物郵送料 30千円</li> <li>・バス借り上げ委託料 800千円 バスツアー 100千円 中学生見学会送迎 700千円</li> </ul>
3カ年の 予定総事業費	3,029千円		
<p>&lt;参考&gt; 区づくり事業 終了後の予定</p>	<p>事業の成果である修復した指定文化財を、北区郷土博物館の展示に利用でき、また、他の博物館などにも活用してもらえる。 企画展に合わせて作成するパンフレットに調査結果、当館所蔵の資料説明などを掲載することで、地域のみならず全国に情報発信できる。また、今後の研究に活用していただくことができる。 企画展終了後、その企画展のまとめ、講演会の報告、修復の報告等をまとめた記録集を作成することで整理した記録が残り、調査や研究に繋げることができる。</p>		

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	北区子育て応援事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組 <input type="checkbox"/> 区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組 <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組 <input checked="" type="checkbox"/> 区民との協働による取組 <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他(      )
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日
担当所属	北区健康福祉課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化が進む中、産休・育休から母親が早期職場復帰するケースが増え、0歳児からの保育園入園が増加しており、地域の中で子育て支援を行う前提となる「顔の見える地域の人間関係」を構築しにくい状況となっている。</li> <li>・子育てする親が孤立化しないよう、支援者や他の親とつながるきっかけとなる取り組みが、児童虐待予防や児童健全育成のために重要である。</li> </ul>
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親が地域の支援拠点で子育て仲間を作ることにより、助け合って子育てができる環境を確立するとともに乳幼児期からの切れ目ない支援につなげる。</li> <li>・北区の実情に応じた地域で子育てを支える体制構築を推進する。</li> </ul>
手段 (どのようなやり方で)	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 子育て支援講座の開催。</li> <li>② 児童の福祉向上に寄与するイベントを実施する。</li> <li>③ 育児情報と行政情報等を包括的にSNSで配信。(R3～)</li> <li>④ 地域での子どもの居場所づくりに向けた事業の展開。(R4～)</li> <li>⑤ 地域団体への子育て支援講座の講師派遣。(R4～)</li> <li>⑥ 多胎児向け子育て交流会の開催。(R4～)</li> </ol>
期待される事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親が地域で孤立せずに適切な知識を得て子育てができるようにすることで、親の育児不安解消・児童虐待の予防・子どもの健やかな成長につながる。</li> <li>・地域での支援体制の充実により、「北区で子育てしていきたい」と感じる親が増え、子育て世代に「暮らしやすさで選ばれるまち」となる。</li> </ul>



## 特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	1,880,487円(決算額)	3,500,000円(予算額)	3,000,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援関連講座の開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・NP講座</li> <li>・支援者向けスキルアップ講座 等</li> </ul> </li> <li>○子育て情報誌ままKiTa発行</li> <li>○北区ふゆっこまつりの開催 (実行委員会への負担金支出)</li> <li>○「地域で子育てを支援合う」体制づくりとして早通健康福祉会館にて子育て応援カフェ「びよびよ」の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援関連講座の開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・NP講座</li> <li>・支援者向けスキルアップ講座 等</li> </ul> </li> <li>○北区ふゆっこまつりの開催 (実行委員会への負担金支出)</li> <li>○「地域で子育てを支援合う」体制づくりとして早通健康福祉会館にて子育て応援カフェ「びよびよ」の開催</li> <li>○育児情報と行政情報等をSNSを活用して配信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援関連講座の開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・NP講座・BP講座</li> <li>・パパ向け子育て支援講座</li> <li>・支援者向けスキルアップ講座</li> </ul> </li> <li>○北区ふゆっこまつりの開催 (実行委員会への負担金支出)</li> <li>○育児情報と行政情報等をSNSを活用して配信</li> <li>○地域での子どもの居場所づくりとして早通健康福祉会館での子育て支援講座と多世代交流カフェの開催</li> <li>○地域団体への子育て支援講座の講師派遣</li> <li>○ふたごちゃんの子育て交流会</li> </ul>
3か年の 予定総事業費	8,381千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	事業所等の自主事業として実施できる事業を整理しつつ、事業自体は継続実施する。		

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	北区もの忘れ検診
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区 of 自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他(                      )
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日
担当所属	北区健康福祉課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	2025年には認知症の人の数は約700万人、65歳以上高齢者が5人に1人が認知症と見込まれている。かかりつけ医や地域包括支援センター等と連携し、認知症を早期に発見し、早期に対応することで、認知症の進行を遅らせ、地域で安心して暮らせるようにする。
目的 (何のために)	認知機能の低下している高齢者を早期に発見し、適切な治療・支援サービスにつなげる。
手段 (どのようなやり方で)	65歳以上の希望者に対しもの忘れ検診を実施する。北区医師会の協力を得て国民健康保険の特定健診、後期高齢者健診受診時に医療機関にて実施する。 認知機能低下が疑われる方に対し、適切な治療・支援サービスにつなげる。
期待される事業効果 (目的に対して)	認知症を早期発見・早期対応することで、進行を遅らせ本人や家族が混乱の中にも対応力を備えることができる。検診を通じて認知症に関する知識の普及を図り、地域で認知症について考え・理解する機会となる。

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	360,376円(決算額)	800,000円(予算額)	800,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ入力事務賃金 85,000円</li> <li>・必要な帳票類の作成 150,000円</li> <li>・郵送料 46,000円</li> <li>・消耗品費 96,000円</li> </ul> </li> <li>・検診検討会議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席者謝礼他 117,000円</li> <li>・出席者お茶代 2,000円</li> </ul> </li> <li>・啓発活動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>チラシ・ポスター作成 154,000円</li> <li>検診カレンダー 150,000円</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ入力事務報酬 85,000円</li> <li>・必要な帳票類の作成 150,000円</li> <li>・郵送料 46,000円</li> <li>・消耗品費 96,000円</li> </ul> </li> <li>・検診検討会議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席者謝礼他 117,000円</li> <li>・出席者お茶代 2,000円</li> </ul> </li> <li>・啓発活動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>チラシ・ポスター作成 154,000円</li> <li>検診カレンダー 150,000円</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検診の実施                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ入力事務報酬 85,000円</li> <li>・必要な帳票類の作成 150,000円</li> <li>・郵送料 46,000円</li> <li>・消耗品費 96,000円</li> </ul> </li> <li>・検診検討会議                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・出席者謝礼他 117,000円</li> <li>・出席者お茶代 2,000円</li> </ul> </li> <li>・啓発活動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>チラシ・ポスター作成 154,000円</li> <li>検診カレンダー 150,000円</li> </ul> </li> </ul>
3カ年の 予定総事業費	1,961千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	検診実施で築いた、かかりつけ医や地域包括支援センターなど地域の機関とフォロー体制を可能な限り継続する。 地域での認知症予防活動の充実を図る。		

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	大学生による家庭介護セミナー
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区 of 自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他(            )
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日
担当所属	北区健康福祉課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化や核家族化が進む中、平均寿命が延びるにつれて、高齢者同士による介護が増えてきている。</li> <li>・両親や配偶者、兄弟など、誰もが当事者としてその介護に関わる可能性がある。</li> </ul>
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護に関する知識を学び、家族の介護に備えられるようにする。</li> </ul>
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟医療福祉大学社会福祉学科の学生を講師とした介護に関するセミナーを開催する。</li> </ul>
期待される事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の介護技術、知識の習得</li> <li>・学生の学習成果の実践と地域社会への貢献</li> <li>・地域と学生の交流</li> </ul>

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	300,000円(決算額)	300,000円(予算額)	300,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>家族の介護について学んでいる新潟医療福祉大学 社会福祉学科の学生と連携して、介護技術等に関するセミナーを開催し、家族の介護負担の軽減や、いつか訪れるかもしれない家族の介護に備えられるよう介護の基本的知識やスキルを身につけてもらうとともに、学生と地域とのつながりを深める。</p> <p>【会場】 コミュニティセンターなど</p> <p>【定員】 20名</p> <p>【講師】 医療福祉大の学生及び教員</p> <p>【内容】 ・介護の基本的知識や技術(食事・入浴・移動介助等)などを楽しく学びながら参加者との交流も行う。 ※新型コロナウイルス禍のため、状況によっては変更の場合あり。</p>	<p>家族の介護について学んでいる新潟医療福祉大学 社会福祉学科の学生と連携して、介護技術等に関するセミナーを開催し、家族の介護負担の軽減や、いつか訪れるかもしれない家族の介護に備えられるよう介護の基本的知識やスキルを身につけてもらうとともに、学生と地域とのつながりを深める。</p> <p>【会場】 コミュニティセンターなど</p> <p>【定員】 20名</p> <p>【講師】 医療福祉大の学生及び教員</p> <p>【内容】 ・介護の基本的知識や技術(食事・入浴・移動介助等)などを楽しく学びながら参加者との交流も行う。 ※新型コロナウイルス禍のため、状況によっては変更の場合あり。</p>	<p>家族の介護について学んでいる新潟医療福祉大学 社会福祉学科の学生と連携して、介護技術等に関するセミナーを開催し、家族の介護負担の軽減や、いつか訪れるかもしれない家族の介護に備えられるよう介護の基本的知識やスキルを身につけてもらうとともに、学生と地域とのつながりを深める。</p> <p>【会場】 コミュニティセンターなど</p> <p>【定員】 20名</p> <p>【講師】 医療福祉大の学生及び教員</p> <p>【内容】 ・介護の基本的知識や技術(食事・入浴・移動介助等)などを楽しく学びながら参加者との交流も行う。 ※新型コロナウイルス禍のため、状況によっては変更の場合あり。</p>
3か年の 予定総事業費	900千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	事業効果を検証しながら北区と新潟医療福祉大学との包括連携協定に基づき、より良い仕組みを整えられるよう、検討していく。		

## 特色ある区づくり予算事業計画書(その1)

事業名	「高めよう互近助力」地域でつくる避難生活運営体制事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組 <input type="checkbox"/> 区の伝統文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組 <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組 <input checked="" type="checkbox"/> 区民との協働による取組 <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input checked="" type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他(                      )
事業期間	令和4年4月1日 ~ 令和7年3月31日
担当所属	北区地域総務課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>近年、気候変動により激甚な気象災害が各地で頻発するなかで、「自助」、「共助」、「公助」の連携により、被害の最小化を目指す「減災」の考え方を基本に防災力の充実・強化に努めている。また、新潟市地域防災計画のなかで、「共助」として避難所の運営については地域住民が主体となり、助け合って運営すると定めている。</p> <p>しかし、依然として北区内で避難所運営を担う組織が作られている避難所は少なく、発災時に生活の拠点となる避難所の運営に課題が生じている。</p>
目的 (何のために)	<p>災害時における共助の重要性を啓発し、地域ごとにワークショップや防災訓練を通じて、行政と連携しながら、地域住民が主体性をもって避難生活の拠点となる避難所を運営するという認識を共有する。</p>
手段 (どのようなやり方で)	<p>当事業では、各避難所での地域住民主体の運営体制構築を目指し、地域コミュニティ協議会(全8地区)を対象に構築に向けたワークショップや組織立ち上げ後に実証としての防災訓練を行い、地域と協働してモデルとなる避難所運営組織を立ち上げる。</p>
期待される事業効果 (目的に対して)	<p>市が目指す、共助と公助が連携した、地域が主体性を発揮した避難所運営の仕組みをモデル的に構築し、他の避難所においても後発で取り組む際の参考事例としての効果が期待でき、地域防災力の向上に資する。</p> <p>また、ワークショップやその後の防災訓練に地域の防災士も参画してもらうことで、各人のスキルアップ向上が図られる。</p>



## 特色ある区づくり予算事業計画書

事業名	めざせ防災力向上！（継続）		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み	<input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区自治協議会が提案する、地域課題の解決に必要となる新たな事業や既存の取組みと連携を図る事業	
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち	<input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input checked="" type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち	<input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> その他（区自治協議会提案事業）
事業期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日		
関連部会	地域づくり部会		
現状・課題・ニーズ （事業実施の前提）	いつ起こるか分からない地震や津波、気象現象の変化による大雨や洪水、土砂災害、台風などの自然災害は全国各地で発生し、大きな被害をもたらしている。災害から命を守るために、地域住民の防災知識の取得と意識の向上が求められている。		
目的 （何のために）	万が一の災害から命を守るために、コロナ禍における防災の知識を取得し、日頃から災害に備える。		
手段 （どのようなやり方で）	地域全体の防災力向上のためには、地域住民の更なる意識向上や知識の取得が重要であるため、防災の基礎知識やコロナ禍における防災などを学ぶ講座やイベントを企画し実施する。また、ポストコロナを意識し、地域団体などと協力しながら集客性を高めたイベントとすることにより、幅広い世代から参加してもらい、防災に触れて考えるきっかけとしてもらう。		
期待される事業効果 （目的に対して）	幅広い世代に対し防災に関する知識の取得及び意識の向上を働きかけることで、これまで地域での防災活動とはなじみのなかった層を巻き込みながら、地域全体の防災力の向上が期待される。		
令和4年度 予定額	900,000円		



## 特色ある区づくり予算事業計画書

事業名	子が育ち、大人が育つまちづくり		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み	<input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区自治協議会が提案する、地域課題の解決に必要となる新たな事業や既存の取組みと連携を図る事業	
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち	<input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち	<input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> その他(区自治協議会提案事業)
事業期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日		
関連部会	福祉教育部会		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	定年退職後に子育てボランティアなどの地域活動に参加したいと思っても、手段や方法などどのように情報を探せばいいのかわからない。また、地域活動全体で高齢化が進み担い手不足が課題となっている。		
目的 (何のために)	①定年退職後、地域活動に踏み出す一歩を後押しする ②社会貢献意識を醸成し、生きがいづくりにつなげることで健康寿命を延伸する ③地域活動の担い手を育てるとともに、同世代が関わることで地域活動そのものの継続・発展につなげる		
手段 (どのようなやり方で)	①地域活動に参加しやすくなるよう情報を整理し提供する。(活動状況、窓口等) ②意見を交換する場を設け、実際に地域活動に一歩を踏み出せるようにする。 ③ボランティア活動の中で、今回は子育てに特化し、「今の子育て」について学ぶ場を設定する。(発達障がい、LGBTQ等) <b>【理解】</b> ④区内の各種子育てボランティア活動に参加してもらう。 <b>【体験】</b>		
期待される事業効果 (目的に対して)	①社会貢献意識が芽生え、生きがいづくりにつながるとともに、健康寿命の延伸につながる。 ②同世代の顔が見えることでつながりができ、地域活動の担い手になるとともに、活動そのものの継続・発展につながっていく。 ③子育てに焦点をあて、現状を理解したうえで体験したり意見交換したりすることで、実際に一歩を踏み出せるようになる。 ④子育て世代は、地域の応援で子育てがしやすい環境、子育てを充実できる環境を得られる。		
令和4年度 予定額	600,000円		

## 特色ある区づくり予算事業計画書

事業名	北区 魅力発信継承事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区自治協議会が提案する、地域課題の解決に必要となる新たな事業や既存の取組みとの連携を図る事業
区ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input checked="" type="checkbox"/> その他(区自治協議会提案事業)
事業期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
関連部会	自然文化部会
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>北区の豊かな自然や文化を残していくためには、それらの魅力を理解し継承していく人材が必要である。北区には各分野の専門家がいるが、学びたい人と専門家とのマッチングが難しい現状がある。</p>
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民が自然・文化について学び、理解を深める</li> <li>・自然・文化分野の講座が活発に開催されるようにする</li> </ul>
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然・文化を学ぶ講座を実施する</li> <li>・自然・文化の各分野ごとのガイド(人材)一覧を作成する</li> </ul>
期待される事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民の自然・文化に対する理解が進むとともに、一人一人が区内外へ魅力を発信していく機運を醸成する</li> </ul>
令和4年度 予定額	800,000円